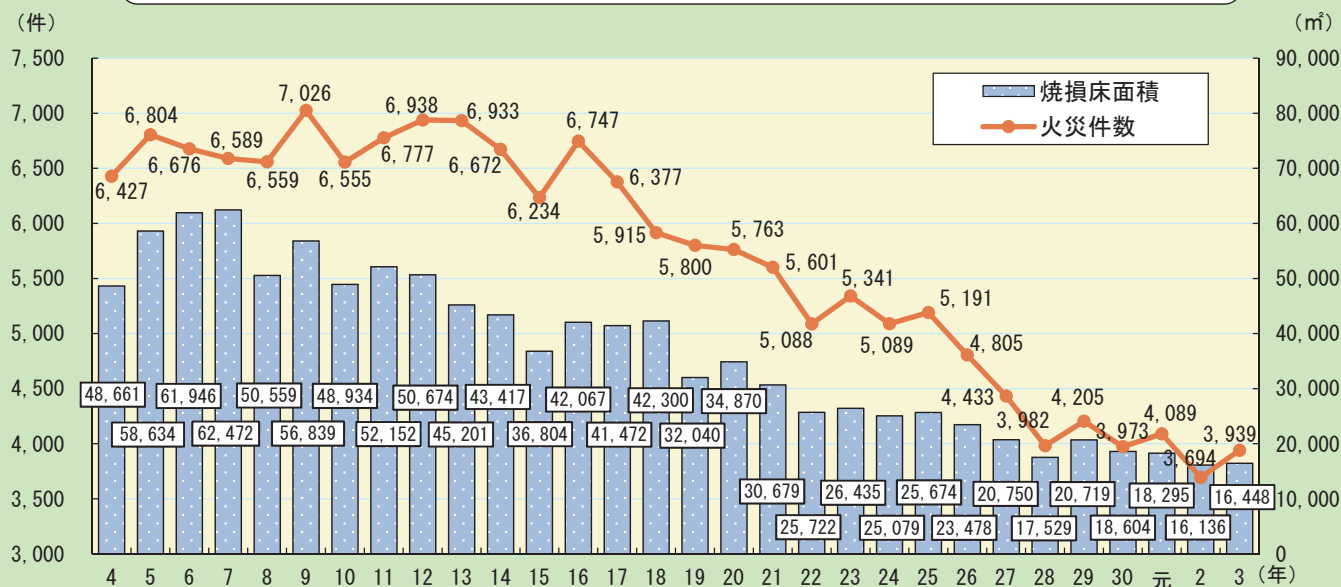


**令和4年版**

**火災の実態**

**東京消防庁**

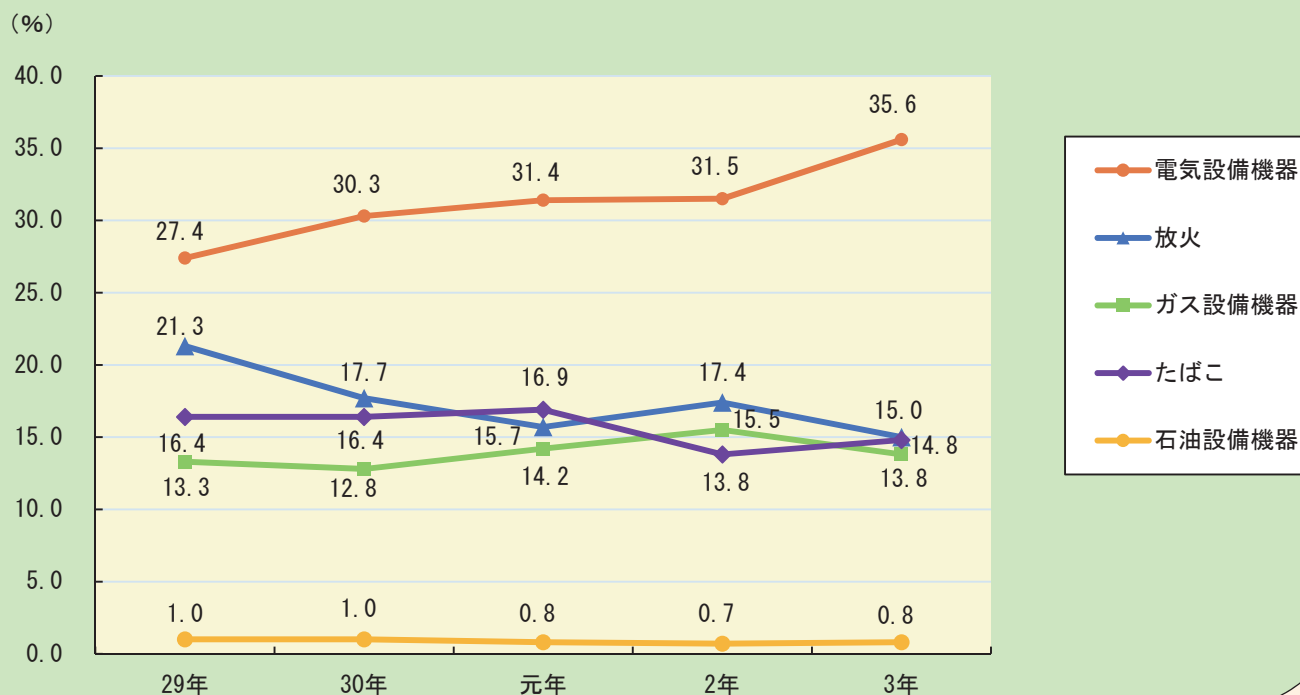
## 最近 30 年間の火災件数と焼損床面積の推移



令和 3 年中の火災件数は 3,939 件で、前年と比べて 245 件 (6.6%) 増加しました。最近 30 年間では昨年に次いで 2 番目に少ない件数となりました。

焼損床面積は 16,448 ㎡で、前年と比べて 312 ㎡増加し、1 日当たりの焼損床面積は 45.1 ㎡でした。

## 各設備機器、放火及びたばこの構成割合の推移



火災件数が減少傾向で推移しているなか、電気設備機器は毎年 1,000 件を超えて発生しています。令和 3 年中は前年と比べて 236 件増加の 1,399 件発生しました。

全火災件数に占める電気設備機器火災の割合は平成 24 年から 2 割を超え、令和 3 年は 35.6% となり、電気設備機器の占める割合は全火災件数の 3 割を超えています。

# 令和3年中の火災

## 住宅から出火した火災



① 付近の建物に延焼して複数棟が焼損した火災（3月）



② 死者が発生した火災（7月）



## 住宅から出火した火災



③消防団と連携して活動した火災（9月）



④隣の建物に延焼した火災（11月）



## 共同住宅から出火した火災



① 2階住戸から出火した火災（2月）



② 1階住戸から出火した火災（3月）

## 共同住宅から出火した火災



③逃げ遅れた住民を救助した火災（8月）



# 政令対象物（共同住宅除く）から出火した火災



①飲食店から出火した火災（1月）



②倉庫から出火した火災（2月）



# 政令対象物（共同住宅除く）から出火した火災



③事務所から出火した火災（3月）



④倉庫から出火した火災（10月）

## 車両から出火した火災



①乗用車から出火した火災（1月）



②乗用車から出火した火災（4月）



# 令和3年中の特異火災



①飛火により延焼した火災（2月）



## 令和3年中の特異火災



②自動車専用道路高架下工事現場から出火した火災（12月）

## 電気設備機器から出火した火災



①差込みプラグにハンガーが落下し出火した火災（1月）



②電気ストーブに可燃物が接触し出火した火災（1月）



# 電気設備機器から出火した火災



③ごみ収集車で回収したバッテリーから出火した火災（2月）



## 電気設備機器から出火した火災



④電子レンジでさつま芋を過熱し出火した火災（10月）



# 社告品から出火した火災



コードレス掃除機の非純正品バッテリーから出火した火災



# 火災の原因調査



①住宅火災の原因調査（2月）



②車両火災の原因調査（7月）



## 原因調査のための検証実験



酸素濃縮装置使用中に出火した火災の検証実験

# 都民への注意喚起

報道発表資料

東京消防庁 Tokyo Fire Department



令和3年11月4日

## リチウムイオン電池からの火災にご注意を！

～誤った使用方法や廃棄による火災が増加しています～

リチウムイオン電池は、モバイルバッテリー、スマートフォン、コードレス掃除機、ノートパソコンなど幅広く使用されていますが、東京消防庁管内では、充電中や使用中のリチウムイオン電池から出火する火災が増えています。

平成28年～令和2年までの5年間で399件、さらにごみとして廃棄されたリチウムイオン電池から56件の火災が発生しています。本年は9月末までで火災が90件（速報値）、廃棄されたリチウムイオン電池から16件（速報値）発生していることから、注意を呼びかけています。

### 【主な火災の発生状況】（別紙1参照）

- 1 メーカーが製造・販売している純正品ではないバッテリー（非純正品バッテリー）を充電中に火災した。
- 2 専用（対応型）充電器を使用しなかったため、過充電となり火災した。
- 3 廃棄のために分解した際、外力によりバッテリーが損傷し火災した。
- 4 スマートフォンのバッテリー交換の修理中に、鋭利な工具などを差し込んだ際、内蔵バッテリーを損傷させて火災した。
- 5 社告・リコール品を使用していて火災した。
- 6 ごみ収集車で収集中に一般ごみと一緒に捨てられたリチウムイオン電池が押しつぶされて火災した。

### 【火災を防ぐために】

- 1 機器購入時に付属されているメーカーの使用しましょう。（別紙2参照）
- 2 接続部が合致するからといって、充電しなす。充電しなす。
- 3 膨張、異音、異臭など異常が生じた場合は、使用を中止し、廃棄してください。
- 4 充電が最後までできない、使用時間が短くなるなど異常があった際には使用をやめて、メーカーに相談してください。
- 5 廃棄の際は事業団体が回収するリサイクルマークの電池を回収してください。

### 【万が一発火した時には】

充電式電池から火花が飛び散っている場合は、消火器や大量の水で消火するとともに119番に通報してください。  
※ 事例等の写真を希望する社は、広報課へお問い合わせください。

【別紙3】

### ●小型充電式電池のリサイクルについて

#### 【小型充電式電池とは？】

充電して繰り返し使える小型で軽量の電池です。この小型充電式電池は、主な材料としてニッケル（Ni）、カドミウム（Cd）、コバルト（Co）など希少な資源が使われていることから、平成13年4月、「資源有効利用促進法」により、小型充電式電池製造メーカーや小型充電式電池を使用する機器メーカー、それらの輸入業者などに回収、再資源化が義務付けられました。

なお、回収の対象になっているのは、リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池及び小型制御弁式鉛蓄電池の4種類で、それぞれの電池にリサイクルマークが表示されています。

#### 小型充電式電池のリサイクルマーク

 Li-ion	 Ni-Cd	 Ni-MH	 Pb
①リチウムイオン電池	②ニカド電池	③ニッケル水素電池	④小形制御弁式鉛蓄電池

#### 【どこで回収しているの？】

小型充電式電池の回収、再資源化は電池メーカー等が会員となって設立された「一般社団法人JBRC」のリサイクル協力店（電器店・ホームセンター・スーパーなど）で実施しています。

なお、近くのリサイクル協力店と回収方法はホームページでご確認ください。

また、携帯電話・スマートフォンの小型充電式電池の回収は、モバイル・リサイクル・ネットワークなどで推進されており、各社のショップ等で実施しています。

#### ①一般社団法人JBRCホームページ

：<https://www.jbrc.com/>

※リサイクルマーク①～③が回収対象  
（解体された電池パック、破損、膨張、水濡れ電池などは回収対象外です。）



#### ②モバイル・リサイクル・ネットワーク

：<http://www.mobile-recycle.net/>

（一般社団法人電気通信事業者協会・  
一般社団法人情報通信ネットワーク  
産業協会）





# 都民への注意喚起

## 電気製品の「迷わず」 「小さなこげ跡」でも 119番通報してください!

### 電気火災が 増えています

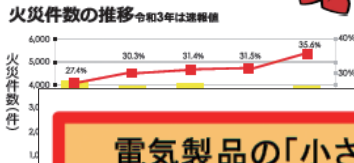
東京消防庁管内の火災件数は減少傾向ですが、電気火災の割合は年々増加しています。令和3年は35.6%で、10年前（平成24年）と比べて13.8ポイント増えています。

偶然に消えただけで、大きな火災になるかもしれません！  
東京消防庁では、原因を調べて火災予防につなげています。



コードのこげ跡

もしかしたら  
大きな火災に



### 電気製品の「小さなこげ跡」を見つけた場合

- ・火が見える
- ・発熱がある
- ・煙、臭いがある
- ・今消火をした

どれか1つでも  
あてはまったら

119番通報してください

あてはまらない場合は

お近くの消防署に相談してください

#### これも電気火災です!



#### 火災事例・コンセント



- 事故概要  
掃除機の電源プラグを廊下に設置されている壁付コンセントに差し込んだところ、金属製カバーが外れた際、電源プラグと壁付コンセントの間に金属製カバーが落下したため、電源プラグの高差刃上に接触し短絡したものと。
- 予防対策  
・緩みやがたつきがあった場合は、取り付けネジを締めたり、金属製カバーを交換してください。  
・金属製カバー以外にも、電気を通す素材のものを電源プラグと壁付コンセントの間に差し込むと火災になる恐れがあります。  
・カバーには、「上・下」がある製品がありますので、取り付けを間違わないようにしてください。  
・差し刃が露出しないように、プラグは根元まで差し込んでください。

### 電気製品の「小さなこげ跡」を見つけ

東京消防庁ホームページ (<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/>)  
東京消防庁公式アプリ内の東京消防庁版電気製品が  
ご覧になるか、お近くの消防署にご相談ください。

右のQRコード、アプリのおしえて!キュータに  
「電気」と入力すると相談ガイドが見られます!



詳しくはこちら!!



トップページ右上のメニューアイコンから「公表・報告」、「報道・広報」の報道発表の中にあります。

パソコンで見える場合は、<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/>  
または、「東京消防」で検索してね!

## 凡 例

- 1 この書籍「火災の実態」は、東京消防庁管轄区域（稲城市及び島しょ地域を除いた東京都全区域）における火災について原則として令和3年中の統計を分析しています。
- 2 本書に記載されている「令和3年中」とあるものは、「令和3年1月から12月まで」を示しています。
- 3 本書に記載されている法令名は、次により略称を用いています。
  - 法 消防法（昭和23年法律第186号）
  - 政令 消防法施行令（昭和36年政令第37号）
  - 危政令 危険物の規制に関する政令（昭和34年政令第306号）
  - 条例 火災予防条例（昭和37年東京都条例第65号）
- 4 表中の符号の用法は、次のとおりです。
  - 0 または該当数字のないもの
  - ▼ 減少を示したもの
- 5 本書に記載されている小数点の数値または損害額（千円）にあつては四捨五入しており、個々の数値の和が合計と合致しない場合があります。
- 6 事例に記載されている「○○造 △/×」とあるものは、「建物構造 地上△階、地下×階建て」の建物を示しています。
- 7 事例に記載されている「延べ面積」は概数を表記しています。





# 目次

## 第1章 火災の概要

1 令和3年中の火災の状況	1
(1) 火災状況	1
(2) 損害発生状況	3
2 火災による死傷者の状況	5
(1) 火災による死者	5
(2) 火災による負傷者	8
3 主な出火原因別の傾向	11
(1) 主な出火原因別発生状況	11
(2) 各設備機器の火災状況	11
4 建物出火用途別の火災状況	13
5 建物構造別・出火階層別の火災状況	14
6 火災トピックス	15
(1) 電気設備機器火災の状況	15
(2) 令和3年中に発生した特徴的な火災事例	29

## 第2章 火災事例

火災事例	32
------	----

## 第3章 出火原因別火災状況

1 放火	94
(1) 火災状況	94
(2) 放火火災の傾向	95
(3) 地域別放火火災の発生状況	97
(4) 連続放火火災の発生状況	97
2 たばこ	98
(1) 火災状況	98
(2) 建物からの発生状況	99
(3) 建物以外の発生状況	103
3 火遊び	104
(1) 火災状況	104



## 2 目 次

---

(2) 出火箇所	105
(3) 子供に対するライターの安全対策	105
4 ライター	106
(1) 火災状況	106
(2) 経過別出火箇所区分	107
5 ローソク	108
火災状況	108
6 電気設備機器	109
(1) 火災状況	109
(2) 主な出火原因	112
(3) 火元の用途別火災発生状況	115
(4) 出火要因別発生状況	115
(5) リチウムイオン電池の火災発生状況	116
7 ガス設備機器	117
(1) 火災状況	117
(2) 主な出火原因	118
(3) 出火要因別発生状況	119
(4) ガス漏れ火災	121
8 石油設備機器	123
(1) 火災状況	123
(2) 主な出火原因及び出火要因別発生状況	125
9 その他の出火原因	126
(1) 花火	126
(2) 雷	126
(3) 再燃	127
(4) 収れん	127

## 第4章 特異な出火原因別火災状況

1 天ぷら油火災	128
(1) 火災状況	128
(2) 出火理由と行為者	130
(3) 初期消火状況	131
(4) 凝固剤に係わる火災	131
2 危険物類	132
(1) 火災状況	132
(2) 着火物別の火災状況	133
(3) 発火源別の火災状況	135

---

3 エアゾール缶等	136
(1) 火災状況	136
(2) 火災発生要因	137
(3) ブタンガストーチバーナの火災状況	139
4 爆 発	141
(1) 火災状況	141
(2) 出火原因及び建物用途別の発生状況	142
5 社告品等から出火した火災	143
(1) 火災状況	143
(2) 電気設備機器	144

## 第5章 火災による死傷者の状況

1 火災による死者	147
(1) 発生状況	147
(2) 出火原因別発生状況	149
2 火災による負傷者	151
(1) 発生状況	151
(2) 出火原因別発生状況	153
(3) 30日死者	154

## 第6章 人的要因別火災状況

1 高齢者	155
(1) 火災状況	155
(2) 出火原因別発生状況	158
(3) 発見・通報・初期消火等の状況	158
2 工事関係者等による火災	160
(1) 火災状況	160
(2) 出火原因	162
3 着衣着火	164
(1) 火災状況	164
(2) 出火原因	164
(3) 火災による死傷者	165

## 第7章 出火用途別火災状況

1 住宅火災	166
--------	-----



## 4 目 次

---

(1) 火災状況	166
(2) 住宅火災の出火原因	170
(3) 発見・通報・初期消火等の状況	172
(4) 火元住戸に住警器又は自火報等が設置されていた火災の状況	174
(5) 住宅火災の死傷者の状況	176
2 飲食店	185
(1) 火災状況	185
(2) 出火原因	187
(3) 発見・通報・初期消火等の状況	188
3 物品販売店舗等	190
(1) 火災状況	190
(2) 出火原因	190
(3) 発見・通報・初期消火等の状況	191
4 旅館・ホテル・宿泊所	192
(1) 火災状況	192
(2) 出火原因	192
(3) 発見・通報・初期消火等の状況	193
5 病院・診療所	194
(1) 火災状況	194
(2) 出火原因	195
(3) 発見・通報・初期消火等の状況	196
6 学 校	198
(1) 火災状況	198
(2) 月・曜日・時間別火災発生状況	198
(3) 出火原因	199
(4) 発見・通報・初期消火等の状況	200
7 工場・作業場	201
(1) 火災状況	201
(2) 出火原因	203
(3) 発見・通報・初期消火等の状況	204
8 倉 庫	206
(1) 火災状況	206
(2) 出火原因	207
(3) 発見・通報・初期消火等の状況	207
9 事務所	208
(1) 火災状況	208
(2) 出火原因	209
(3) 発見・通報・初期消火等の状況	210

10	防火管理義務対象物	212
	(1) 選任義務対象物の火災状況	212
	(2) 統括防火管理義務対象物の火災状況	216
	(3) 初期消火状況と避難状況	217
11	その他の建物用途	219
12	危険物施設	220
	(1) 危険物製造所等	220
	(2) 少量危険物貯蔵取扱所	222
	(3) 指定可燃物貯蔵取扱所	223
13	車両	224
	(1) 火災状況	224
	(2) 出火原因	225
	(3) 出火部位別火災状況	226
	(4) 車種別火災状況	227

## 第8章 消防用設備等の活用状況等

1	消防用設備等の活用状況	228
2	消火設備の活用	229
	(1) 消火器具	229
	(2) 屋内消火栓設備	231
	(3) スプリンクラー設備	232
	(4) 水噴霧消火設備等	232
	(5) 動力消防ポンプ設備	232
	(6) 屋外消火栓設備	232
3	警報設備の活用	233
	(1) 自動火災報知設備	233
	(2) 非常警報設備	235
4	防災物品等に関連した火災	236
	(1) 火災状況	236
	(2) 用途別	237

## 第9章 延焼拡大・避難状況

1	延焼拡大状況	238
	(1) 火元建物内の延焼拡大状況	238
	(2) 類焼建物への延焼状況	240
2	避難状況	242



## 6 目 次

---

(1) 避難行動のあった火災	242
(2) 施設別の避難状況	243
資 料	245
一般事項の解説	279
用語の解説	281
YouTube 東京消防庁公式チャンネル 火災実験映像	283

### ○ 語句等に付された「\*」について

本文中において、特に解説が必要な語句等は、末尾に「\*」を付していますので、用語の解説ページ（P281 及び P282）を参照してください。